

教育
指導課

楽しみながら英語に親しむ 令和8年度「イングリッシュ・キャンプ in 庄原」

8月3日、市内の小学5・6年生と中学生を対象に「イングリッシュ・キャンプ in 庄原」を庄原自治振興センターで行いました。

この取り組みは、A L T（外国語指導助手）との英語活動を通して国際感覚を養うとともに、これまでに学習した英語を使ってコミュニケーションする力を身に付けることを目的に、実施しています。

本年度は29人の児童生徒が参加し、「Shobara Summer Fes（庄原夏祭り）」をテーマに、6人のA L Tと一緒に英語でのコミュニケーション活動を楽しみました。

参加した児童生徒からは、「初めて参加して緊張したけど楽しかった。中学生やA L Tたちが優しく教えてくれてうれしかった。来年も参加したい」「中学校3年間毎年参加して、とても楽しかった。これまで習った単語や文法を使って英文にまとめることができてよかった」などの感想がありました。

市教育委員会では、今後もA L Tとの交流や、英語を使ったさまざまな活動を通して、子どもたちが楽しみながら英語に親しみ、国際感覚やコミュニケーション能力を身に付ける機会を提供していきます。



英語で楽しくコミュニケーション！



A L Tの説明を聞きながら英語を学ぶ参加者

教育
指導課

自分の思いを言葉に込めて 令和8年度庄原市中学生意見発表大会

8月20日、青少年育成庄原市民会議と市教育委員会が主催する「令和8年度庄原市中学生意見発表大会」を庄原自治振興センターで開催しました。

中学生代表11人が参加し、さまざまなテーマについて、社会と自分との関わりなどを自分の言葉で表現豊かに発表しました。

西城中3年の鑄鍋和希さんは「受け継ぐ覚悟」というタイトルで、父の仕事に向き合う姿勢や覚悟を受け継ぎ、憧れの父のような米農家になりたいという決意を力強く述べました。

また、庄原中3年の光久夏帆さんは「努力の仕方」というタイトルで、自身の陸上競技部での経験をもとに、努力とは何かを考え、努力する過程で得た多くの経験が、自分自身を支えてくれている宝物だと発表しました。

審査の結果、次のとおり入賞者が決定し、表彰されました。

庄原市中学生意見発表大会 受賞者

（敬称略）

青少年育成庄原市民会議会長賞 鑄鍋 和希（西城中3年）

庄原市教育委員会教育長賞 光久 夏帆（庄原中3年）

特別賞 重田 悠成（東城中2年）



参加者で記念撮影



観客の前でスピーチする鑄鍋さん

行政経営
改革課

より快適な窓口サービスを目指して 市職員による窓口利用体験調査

市では、新たな取り組みとして「窓口利用体験調査」を8月20日に実施しました。

これは、職員が「転入の届け出」や「戸籍謄本などの証明書交付手続き」などを実際に体験し、利用者が日頃感じている「分かりにくさ」や「不便さ」を自ら発見し、より快適で分かりやすい窓口サービスの提供につなげることを目的としています。

普段、市民の皆さんを迎える職員にとって、「もし自分が手続きをする側だったら」という視点を持つことは、より良い窓口サービスを考える上で重要です。

当日は、デジタル庁から「窓口B P Rアドバイザー」として派遣された静岡県裾野市職員の中原義人さんに指導を受けました。

調査では、申請書の分かりにくさや案内不足など、普段の業務では気づきにくい課題が明らかになった一方、職員が出向くことで来庁者が移動せず手続きできるなど、良い点も確認できました。

今回得られた気づきをもとに、申請書の様式改善や、より分かりやすい案内表示の設置など、具体的な改善策の検討を進めます。



得られた気づきを共有し、改善策を検討



実際に窓口サービスを体験する職員

市役所は、皆さんの暮らしに身近な行政サービスを提供する場所です。これからも職員一丸となって利用しやすい窓口サービスの提供に努めていきます。

総務課

県内各市の市長が庄原市に集結 令和8年度秋季広島県市長会議

8月28日、令和8年度秋季広島県市長会議が桜花の郷・フォーレ庄原で開催されました。

広島県市長会は、県内14市の市長で構成され、各市に共通する行政課題について情報や意見を交換するとともに、国や県に対する要望などを取りまとめ、その実現に向け政府などへ働きかける活動を行っています。

当日は、県内の各市長が出席し、令和7年度の会務報告や収支決算について確認したほか、各市から提出された国・県への議案・要望項目について議論を交わしました。

議論では、各市が抱える地域の実情や課題を踏まえ、特に重点的に取り組む項目や新たに提出された項目について、出席した市長からさまざまな意見が出され、活発な意見交換が行われました。

会議終了後には、市内で行政視察も行われ、本市の歴史や文化、地域の魅力を知っていただく機会にもなりました。このことを通じ、新たな連携や取り組みにつながることを期待されます。

市は、今後も市民の皆さんが安心して暮らし、将来に希望を持てる庄原市の実現に向け、県



比和自然科学博物館・地学分館を視察



議長を務める八谷市長

内各市をはじめ、関係機関とのさらなる連携を深めながら、市政を進めていきます。